

令和2年度 第2回萩市立図書館協議会 議事録

令和3年3月12日(金)

14:00~15:40

会場 萩市立萩図書館

出席者	協議会委員8名	大島昌子委員・平田美代子委員・的村るみ委員 津田和夫委員・阿武知弘委員・杉山芳文委員 柳林優子委員・岡崎祐介委員
教育長		中村彰利
教育委員会		井本局長
事務局		萩図書館 江山館長・森岡係長・福永主任 須佐図書館 豊田館長・村木主任 明木図書館 河口主任 NPO萩みんなの図書館 澤井理事長・藤山副理事長

1. 開会のことば（豊田館長）

2. 教育長あいさつ

本日はお忙しい中、今年度第2回目の萩市立図書館協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため休館や開館時間の短縮、利用者の制限などを実施することとなり、多くの方に不便をかけることになった。そうした状況ではあるが、現在の萩図書館は3月21日に開館10周年を迎えることになる。それに先立ち、今月7日に「萩あいづらり開館10周年記念セレモニー」を開催した。本来であれば、本協議会委員の皆様をご案内すべきところだがコロナ禍で規模を縮小しての開催であったため、大島会長に代表としてご参加いただいた。事後報告となったがご理解いただくようお願いする。さて、本日も集まりいただいた委員の方の任期は2年であるので、この3月31日までが任期となる。このメンバーでの会議は今回が最後になる。この会議の議事については、従来事務局が用意したものについて進めることが中心になってきたが、本日は、7月のこの会議であったように委員の皆様からいただいたテーマを議題として挙げている。最後の会議になってやっとという感じであるかもしれないが、今後の協議会の進め方について大事な1歩になるのではないかと考えている。委員の皆様には忌憚のないご意見をいただき、萩市の図書館のさらなる改善につながればと思うのでどうぞよろしくお願いする。ところで、10周年記念セレモニーの帰りにNPO萩みんなの図書館初代理事長、陽先生とお話する中で、最近読まれて面白かったという本を紹介していただいた。早速、通販で注文して昨日届き、大変面白く読んでいる。このように、本を紹介してもらうことは本を手にとる大きなきっかけとなる。現在、図書館で行っているブックトークやビブリオバトル、話題の図書の展示など本に触れるよききっかけと感じている。また、今年度末には小中学生一人一人にタブレット端末が整備されることから、今後、学校と連携し、読書や学習に電子図書も大いに活用したいと考えている。新しい機器の活用については、いろいろな工夫や可能性を期待している。議題にある「新たな利用者獲得に向

けた取り組みについて」の議論のきっかけになればと思い、最近の出来事2つをお話した。新しい時代に向かって図書館活動活性化のための工夫はできることから積極的にやってみること、チャレンジしてみることが大切だと感じている。本日は限られた時間であるが活発な意見交換が行われることをお願いして挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いする。

3. 議事

議長 10周年のセレモニーに参加し、多くの方が関係者として図書館に関わっていて、コンビネーションがうまくいっていい図書館だと思った。最近参加した図書館の行事を1つご紹介する。2月10日に美味しい野菜がとれる土作りという講座に参加した。農業に関する内容だったが関連する図書館の本も紹介され、よい取り組みだと思った。リモートによる講座だったが、講師の方は距離感を感じさせないよう工夫をされて、コロナが終わってもリモートを活用した講座の開催は今後の方法として良い方法ではないかと、教育長のご挨拶を聞きながら思った。コロナ禍に限らず、今後の方向としてよいものだと教育長のお話と同じように感じた。今日も活発な議論をよろしくお願いする。それでは議事に入る。まず、議事(1)令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について、各図書館から説明をお願いする。

福永主任 萩図書館の事業報告・事業計画について説明

村木主任 須佐図書館の事業報告・事業計画について説明

河口主任 明木図書館の事業報告・事業計画について説明

森岡係長 田万川中学校図書館の事業報告・事業計画については板井館長が公務により欠席のため省略する。

議長 議事(2)コロナ禍における図書館の取組にみについて各図書館から説明をお願いする。

福永主任 萩図書館の取組みについて説明

村木主任 須佐図書館の取組みについて説明

河口主任 明木図書館の取組みについて説明

議長 田万川中学校図書館については省略し、議事(1)(2)について質問をどうぞ。

委員 萩図書館でリモート講座をされたということだが、どのような方法でされたのか？

江山館長 z o o mアプリを活用し、ホストは講師。講師に招待してもらう形で、図書館側はカメラを設置して会場の様子が講師に見えるようにして行った。

委員 うまくいったか。

江山館長 会場にいなかったため、受講された議長、いかがでしたか。

議長 色紙を使うなど講師が質問の仕方など工夫し、臨場感が出るようにされて、一体感があってうまくいったと思う。

委員 これをモデルにされたらいいと思う。

議長 コロナ禍でなくても続けて欲しいと思った。

江山館長 補足として、リモートは初めての試みだった。事務室で講座を見ていたが、講師から招待してもらえば、講座に参加できる。質問もチャットで書き込める。会場に行けない方も受講できる仕組み。回を重ねるうちにできることが広がっていくと感じた講座だった。

議長 招待してもらって参加できることはよいと思う。コロナ禍に関係なく、そのような形で、家でもいろいろな講座を聞くことができたらい。至誠館大学でもそのような試みをされているか？

委員 大学でもz o o mなどオンラインでの授業を始めている。

- 議長 一般向けに幅広く公開する考えはあるか？
- 委員 家で気軽に参加できるという学生も多いと思うので、参加する学生もいると思う。
- 議長 図書館に関係する内容のものなどの一般公開も可能ならいいと思う。
- 委員 コロナ対策をしっかりとされていて安心だと感じた。
- 委員 地元の須佐図書館を利用している。利用者の猫の写真展示や猫の関連本など、猫をとりあげた展示は癒された。
- 委員 主に明木図書館を、たまに萩図書館を利用している。どちらの図書館もコロナ対策をしっかりとっていて感心する。
- 委員 萩図書館を利用している。コロナ対策のゲートなど寒い中大変だと思う。電子図書館について教えてほしい。
- 江山館長 [電子図書館について説明]
- 委員 コロナ対策は本庁よりよく工夫されているように思う。特に、図書カードでのチェックはよいアイデアと思う。ホームページから本の予約をしており、よくできたシステムで感心していたが字が小さい。山口県内の図書館は同じシステムを導入されているようだ。
- 議長 コロナ対策についての説明をお願いします。
- 江山館長 貸出カード裏面のバーコードを読み取り、番号を記録している。感染者が発生した場合の追跡調査のため、番号を検索すれば人物特定できる。番号記録で即座に特定はできないが、一人ひとりに住所などを書いていただかなくても番号のみの記録で簡略化でき、個人情報保護にもなる。
- 委員 感染者が図書館に来館していたら分かるということか？
- 江山館長 行動履歴から図書館への来館が分かれば、同じ時間帯に来られていた方に保健所のほうに相談を…というような使い方になる。
- 井本局長 補足する。コロナ感染者が図書館に来られたら、その場ですぐには分からない。保健所が把握し、行動履歴を調べ、図書館に来られたと分かれば連絡が入るので図書館の記録を調べる。近い時間帯に利用された他の方々にPCRを勧めるなどの対応になるかどうかと思う。
- 委員 コロナ対策がよくとられている。滞在時間が長くならないよう、話題の本のコーナーを主に利用している。話題の本を予約せずに借りられるので気に入っている。「心淋し川」を直木賞受賞前に借りていたので、他の方も読みたいのではと思い慌てて返した。話題の本のコーナー周辺が充実しており、奥まで行かなくてもよい本に出会える。ますます充実させてほしい。
- 議長 特集コーナーは役立つと思う。
議事(3) 新たな利用者獲得に向けた取り組みについて、に入る。資料の説明をお願いします。
- 江山館長 資料について説明
- 議長 それでは皆さんからご意見ををお願いします
- 委員 ヒゲダンやBTS、星野源など、話題のアーティストのCDや最新映画のDVDを揃えると、普段、図書館を利用しない人も利用するのではないかと思う。そのようなものが入ったことを図書館だよりなどでPRしたらよいのでは。雑誌の貸出期限が2週間なので、すぐ返さないといけない。管理が難しいかもしれないが、2週間にしてもらえたらゆっくり読める。
- 江山館長 旬の情報を多くの方に届けたいので1週間にしている。2週間だと2名の利用で1ヶ月経ってしまう。

- 議長 2～3ヶ月過ぎたものは2週間になど検討してほしい。
- 委員 職場の人にも意見を聞いてきた。駐車場が狭い。明倫学舎や中央公園駐車場も使えることが知られていない。移動図書館を活用してはどうか。幼稚園、保育園、小中学校の子どもたちをターゲットにし、その保護者を呼び込む。老人ホームなども。著名な講師のイベントを増やす。特に、親子で一緒に参加できるものを。子どもが行きたいとなると、本に興味がない親も子どもと一緒に行くと思う。周南市の図書館のようにスターバックスや他の企業と併設するのもよいのでは。
- 委員 2月7日に山陽小野田市の図書館で新春落語会があるという新聞記事を見た。図書館でなぜ？とミスマッチに感じたが、図書館に来たことのない人に来てもらうための初めの第一歩となるよいアイデアと思った。
- 委員 来客数を増やす案として、例えば、C言語などプログラミングの勉強会などを開いて、本を借りに図書館に行くのではなく、何かをするついでに本を借りるということにシフトするとよいのでは。きっかけ作りのため、きっかけを提案する場としての役割を図書館が担っていく。蔵書を増やすことも必要。そのための資金として、現実的かは不明だが、ネーミングライツなどを募集して書籍購入費に充てるなど。広島大学のホームページで古本募集について見た。本を大学に送り、集まったものを広島大学が売り、そのお金で新たに本を買うという取り組みをされていた。また、欲しい本を直接寄贈してもらったり、お金を寄付してもらったり、クラウドファンディングなども利用できるのでは。利便性を高めるという点で、返却時に車から降りなくていいよう、ドライブスルー式の返却などもできるとよいのではと考えた。
- 委員 美容院で見た月刊誌に山口県内の図書館特集が載っていた。山口市のまちじゅう図書館の記事で、塩満さんの講演を思い出した。萩市が今していないならそういう試みもいいのでは。
- 委員 デジタル化は避けて通れない。SNSで発信し、萩図書館に気づいてもらうことが必要。いい特集をしても宣伝がなかなか難しいが、本のPRとして、これが面白いとすすめる方法を。きっかけを作れば通ってもらえる。社員にカードを作らせたいと思う。先日、300円で読書通帳を作った。借りた本の金額が載っていて、これだけお世話になっているということが分かった。このようなことも発信していけたらと思う。
- 委員 新刊、雑誌、週刊誌などを毎月1回でいいのでSNSで発信するとよいのでは。図書館のホームページをいつも見ている人以外を狙わなければ増えないと思うので、ツイッターなどを利用するのもよいかと思う。これからの図書館は、読む、借りる、出会う場ではなく、考える、話す、交わる場の提供が求められている。図書館はもともと情報の詰まった施設だが、最近はITを使って情報がいくらかでも手に入るようになった。ただ、ITの情報はばらばらでまとまっていない。お金の儲け方や会社のコンプライアンス、会社の会計、運用など、ある程度まとまった情報を会議室などで興味ある人を集めて、図書館の情報を利用して勉強していただくという方法がとれないか。サテライト、商工会議所などと組んで図書館を使って仕事の勉強ができないかと思う。
- 委員 (議長が委員からの意見を紹介)
- 議長 人気のアニメ、映画やテレビドラマの原作などの特集はどうか。ラジオ番組、ミュージックライブラリーなどのようにFM775で本を紹介するコーナーを。
- 議長 相談コーナーはあるが、イメージしているものと少し違う。スマホを使って電子図書館の見方など使い方、お勧めの本など単純なことでも聞きやすいところ、面前で行けるところを作ってほしい。いろいろと意見が出たがそれについて、図書館から返してもらえ

れば。今日、回答できることがあればお願いします。

江山館長 費用を伴うものはなかなかできないこともあるが、駐車場が狭いことはその通りで、明倫学舎の駐車場も使えるということの周知不足。周知方法を考えたい。移動図書館については、島嶼部の学校及び明倫小学校を除いて、全ての幼稚園、保育園、小学校を巡回しているので、子どもたちは在園時に利用者カードを作っていることになる。高齢者施設の利用が増えてきている。幼稚園、保育園より滞在時間が長く、利用者も多い。著名な講師のイベントは、今後考えていく必要がある。リモートであれば、旅費の負担が軽減されるので予算を鑑みながら考えていきたい。スターバックスの併設は敷居が高い。現状は、NPO会員運営によるカフェぶらりがあり、飲食可能な談話コーナーを設置している。市民の方の声が盛り上がりれば誘致につながるかもしれない。プログラミングなどの勉強会や研修会などは、他機関との連携による行事として検討していく。蔵書を増やすことやネーミングライツについては、今後の検討とさせていただきたい。図書のお寄贈については、萩図書館ホームページで寄贈図書のお願いと呼びかけている。年間1万冊前後の寄贈本が毎年あり、昨年度はその中の3,161冊を受け入れた。市の予算で購入する年間受け入れ冊数の約3分の1にあたる。情報が古いものや既に所蔵のあるものは、NPO会員の活動で古本常設コーナーに並べ活用している。知られていないのはPR不足。また、雑誌スポンサー制度も行っており、阿武さんにもご協力いただいている。ドライブスルー式の返却については、図書館建設時に意見を挙げたが、建物の構造上、難しいという理由で設置できなかった。「まちじゅう図書館」については、福岡在住の萩大志館代表、井関さんが立ち上げ、ルコ、俣宿、コトコトの3箇所を設置されている。萩図書館での「まちじゅう図書館」の話はそのままになっているので前へ進められたらと思う。情報発信については、NPOがフェイスブックを新たに始めたので、新刊情報もホームページだけでなく発信できればと思う。できることから発信したいと思う。

議長 今の答えなどについて委員に何か発送するか？

江山館長 会議録と一緒にさせていただきたい。

4. 報告

澤井理事長 「萩図書館10年のあゆみ」について報告

5. その他

森岡係長 本日の協議会が皆様の任期最後の協議会。2年間、図書館運営についてご提言、ご支援に感謝する。

6. 閉会のことば（江山館長）